

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	消防本部 総務課 (庶務係)				記入者	菅 隆人
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	消防年報作成事業
施策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等	該当なし					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	令和2年中における、火災や救急等の消防活動全般について、その実態を収録し併せて累年の消防状況を比較検討し、将来の消防業務の資料とすることを目的とする。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 消防年報発行部数	70	50	50	100	関係機関等への配布予定部数	
2						
3						

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	31	31	13	13	13	
	財 国・県支出金						
	地 地方債						
	そ の 他						
訳 一般財源	31	31	13	13	13		
人 従事職員数	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17		
費 人 件 費	1,154	1,123	1,200	1,200	1,200		
費用合計	1,185	1,154	1,213	1,213	1,213		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	「消防年報」の冊子を各関係機関へ配布並びに、ホームページに掲載し消防行政への理解を図るとともに、ペーパーレス化により部数の削減を行った。 また、製本作業は外注ではなく職員にて行った。	今後について 消防行政について唯一発行している資料のため、今後も継続する必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理由 評点は44.0。ホームページへの掲載等によりペーパーレス化を図っている。職員による製本作業を実施するなど、事業費の削減が図られた。事業は継続する。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は41.0。継続が必要である。内部資料だけでなく、周知啓蒙に努めていく必要がある。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	消防本部 総務課 (庶務係)				記 入 者	伊藤 厚
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	救急救命士養成事業
施 策	第	救急救命士の養成				
実施根拠・根拠法例等 救急救命士法第34条第1項第4号						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	社会構成人口の高齢化、疾病構造の変化等により圏域住民の救急需要に対して的確に対応するため、病院前救護の充実、重篤症状、特に心肺停止状態等の傷病者への救命率向上を図ることが求められている。救急現場や搬送途上で高度な救命処置を実施できる救急救命士を養成することにより、救命率の向上を図り、圏域住民の福祉向上につなげる。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 救急救命士数 (実働)	27	42	30	71	救急車7台×3名(休務者を考慮)×2交替	
2 救急救命士養成研修受講者数	2	2	2	100		
3						

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	4,665	4,642	4,699	4,699	4,699	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
一 般 財 源	4,665	4,642	4,699	4,699	4,699		
人 件 費	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
人 件 費	7,215	7,020	7,056	7,056	7,056		
費用合計	11,880	11,662	11,755	11,755	11,755		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和3年度中の救急救命士数は36名だが実働人員は30名となっており、実働での目標人員42名を確保するため継続的に救急救命士を養成する必要がある。	今後について 救急自動車への救急救命士の搭乗は必要不可欠であり、休務者を考慮した、最終目標42名の養成にむけて今後も継続する必要がある。

【1次評価】		
1次評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理 由 評点は50.0。目標人員である42名に向けて計画的な養成に努めるべきである。

【2次評価】		
総合評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理 由 評点51.0。継続が必要である。目標数に達するよう、継続的な養成に努める必要がある。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	消防本部 総務課（庶務係）				記入者	伊藤 厚
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	消防職員研修事業（消防学校教育）
施 策	第	各種専門分野での災害対応能力の育成				
実施根拠・根拠法例等	消防組織法第4条第2項第6号及び第51条					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	消防大学校、県消防学校への派遣研修などを通じ、知識・技術の習得を図る。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 県消防学校入校（人数）	24	22	14	63	職員の能力向上のため	
2 消防大学校入校（人数）	0	1	1	100	より高度な知識・技術を習得するため	
3						

【事業費等】							（単位：千円）
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	1,614	1,406	1,469	817	696	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
一 般 財 源	1,614	1,406	1,469	817	696		
人 件 費	従事職員数	3.45	3.34	3.03	0.97	0.94	
人 件 費	人 件 費	24,891	23,447	21,380	6,845	6,633	
費用合計	費用合計	26,505	24,853	22,849	7,662	7,329	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	消防活動における最新知識の習得と技術向上のため、県消防学校（幹部科、警防科、救助科、予防査察(危険物)科)に9名、新規採用職員が初任科課程に2名、救急科課程に3名入校し、予定されていた救命士継続教育が、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。また、より高度な知識・技術を習得するため消防大学校の警防科に1名入校した。	今後について 大規模化、多様化している災害の発生に備え、最新で専門的かつ高度な技術を備えた職員の育成は必要不可欠のため、今後も継続して教育していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理 由 評点は46.0。事業は計画的に実施されている。今後も継続して実施すべきである。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理 由 評点は43.5。継続が必要である。人員体制を考慮し、計画的な事業実施が求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	消防本部 総務課 (庶務係)			記入者	伊藤 厚	
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	消防職員研修事業 (各種資格免許取得)
施策	第	各種資格取得				
実施根拠・根拠法例等		該当なし				
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等		消防吏員に必要な基本的知識と技術の取得を図るため、各種資格取得講習を受講する。				

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 救助系講習受講者 (クレーン、玉掛)	11	12	12	100	(船舶免許取得隔年実施の為、当該年度無)
2 その他資格講習受講者 (小型車両系)	2	2	2	100	
3 大型自動車免許取得率 (%)	96	100	92	92	

【事業費等】 (単位：千円)						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額	1,113	411	909	1,041	930
	財 国・県支出金					
	地 方 債					
	そ の 他					
人件費	従事職員数	0.12	0.12	0.14	0.12	0.12
	人 件 費	896	842	988	847	847
費用合計		2,069	1,253	1,897	1,888	1,777

【現状分析及び今後について】	
現状分析	令和3年度は14名が各種資格免許を取得し、迅速な災害対応に向けて備えることができた。
今後について	迅速な災害対応には必要不可欠な各種資格、技能であるため、今後も継続していく必要がある。

【1次評価】	
1次評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <div style="width: 40%;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </div> <div style="width: 15%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">理由</div> <div style="width: 60%;"> 評点は48.0。事業は計画的に実施されている。今後も継続して実施すべきである。 </div> </div>

【2次評価】									
総合評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</div> <div style="width: 40%;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </div> <div style="width: 15%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">今後の方向性</div> <div style="width: 60%;"> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 拡大</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 縮小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input type="checkbox"/> 削減</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td><input type="checkbox"/> 統合</td> </tr> </table> </div> <div style="width: 15%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">理由</div> <div style="width: 60%;"> 評点は47.0。継続が必要である。資格取得状況などを把握し、体制に不備の無いよう改編したうえで無理のない取得、更新に努めることが求められる。 </div> </div>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 削減	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 統合
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡大								
<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 縮小								
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 削減								
<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 統合								

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	消防本部 総務課			記入者	丹 博栄	
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	新消防庁舎建設事業
施策	第	消防・救急体制の充実				
実施根拠・根拠法例等	消防組織法第9条					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	昭和57年に建設されてから38年が経過し老朽化が進む庁舎で、かつ、升形川の家屋倒壊等氾濫想定区域内に立地している事や、指令センターの更新時期等も考慮し、令和7年度末までに庁舎の移転と指令センターの再整備をすることとし、「災害に強く、安全で安心して暮らせる圏域づくり」の実現を図る。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 用地選定事前調査(フォローアップ調査)		-	1	-	フォローアップ調査の実施回数	
2 新消防庁舎整備基本計画策定委員会		-	6	-	策定委員会の実施回数	

【事業費等】 (単位：千円)							
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額		327	59,850	257,320	R3年度 基本計画策定	
	財国・県支出金					R4年度 新消防庁舎基本実施設計	
	地方債				154,100	造成実施設計現地測量	
	その他				59,250	用地測量・用地地質調査	
	一般財源			327	600	1,100	R5年度 庁舎基本実施設計業務
人件費	従事職員数		0.66	1.07	2.50	2.50	開発行為申請 用地造成工事
	人件費		4,633	7,550	17,640	17,640	用地振動影響調査 高機能指令センター実施 設計業務
費用合計		4,633	7,877	77,490	274,960		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和3年度は、用地選考委員会が選考した庁舎建設候補地に対し、科学的・専門的見地からの意見を付すため大学教授等による事前調査（フォローアップ調査）を実施した。また、基本構想をもとに整備計画の精度を上げ、委員会をもって広く合意形成に努め、新消防庁舎整備基本計画策定委員会を6回開催し、「新消防庁舎整備基本計画」を策定した。	今後について 今年度策定した基本計画を基に、新消防庁舎建設事業に取り組んでいく。また理事会からの指示を仰ぎながら建設整備目標年度である令和7年末までに継続して取り組む必要がある。

【1次評価】		
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由

【2次評価】		
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	消防本部 総務課（経理係）				記入者	丹 健太郎
広域圏計画	第2部	第2章	第2節	第2項	事務事業名	消防装備品整備事業
施策	第	消防装備品の充実強化（被服貸与品、空気呼吸器、空気ポンベの更新）				
実施根拠・根拠法例等	消防組織法第14条の4第2項及び、総務省消防庁が定める消防吏員服制基準、一般高圧ガス保安規則第6条2項					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	消防吏員の被服は、全国的な画一性を保持する必要があるため、消防吏員服制基準に合致した被服を整備する。空気呼吸器・空気ポンベについては、耐用年数を経過した空気ポンベ、並びに劣化し装備として使用不能な空気呼吸器の更新を行う。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 活動服・救急服更新数	45	-	49	-		
2 防火服購入数	13	-	3	-		
3 空気呼吸器・空気ポンベ	15	-	15	-	空気呼吸器5基、空気ポンベ10本	

【事業費等】							（単位：千円）
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	13,023	12,734	12,723	13,687	13,267	
	財						
	国・県支出金						
	地方債						
その他							
一般財源	13,023	12,734	12,723	13,687	13,267		
人件費							
従事職員数	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23		
人件費	1,717	1,615	1,623	1,623	1,623		
費用合計	14,740	14,349	14,246	15,310	14,890		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	被服貸与品については更新計画を基本として貸与しているが、個人の使用頻度や劣化具合を把握するため被服貸与希望調査を実施し、適切な被服貸与に努めている。空気ポンベは法律により15年経過したものに充填できず、また年度毎の購入本数にバラつきがあったため、平成24年度から毎年10本の定数を購入している。	今後について
		被服貸与品や空気呼吸器などの消防装備は、安全性の確保や法定上使用できなくなるため、順次更新していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理由 評点は45.6。計画的な整備、更新が図られている。事業費の削減に努めつつ、今後も継続して事業を実施する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は44.0。継続が必要である。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】					
主 管 課	消防本部 警防課			記入者	五十嵐 寿和
広域圏計画	第2部	第2章	第2節 第1項	事務事業名	消防車両等整備事業
施 策	第	車両の整備充実			
実施根拠・根拠法例等	消防力の整備指針				
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	車両を計画的に整備更新し、消防力の充実強化を図る。				

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 消防車両更新台数	2	1	1	100	車両更新予定台数
2 消防車両等維持管理費用	3,664	-	6,110	-	法定点検費等及び緊急修繕費（対象台数32台）
3					

【事業費等】							（単位：千円）
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	96,068	86,120	53,004	90,238	82,525	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
一 般 財 源	96,068	86,120	53,004	90,238	82,525		
人件費	従事職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	
	人 件 費	1,186	1,123	1,129	1,129	1,129	
費用合計		97,254	87,243	54,133	91,367	83,654	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和3年度は消防ポンプ自動車1台を更新した。配置署所により災害出場件数に違いがあり車両の使用頻度も異なるため、走行距離や劣化具合を総合的に判断し随時更新計画の見直しを行っている。	今後について 増加傾向にある救急出動や、複雑多様化する自然災害などの災害に対応するため、消防車両を計画的に更新していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理由 評点は47.6。今後も計画的な更新が必要である。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は47.5。継続が必要である。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	消防本部 警防課				記 入 者	佐藤 公德	
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	山形県ドクターヘリ運航保安誘導業務助成金交付事業	
施 策	第	政策体系外					
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合山形県ドクターヘリ運航に伴う保安・誘導業務助成金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等	山形県ドクターヘリ運航を安全かつ円滑に保安、誘導するため、新庄市を除く7町村にドクターヘリの離着陸に伴う保安、誘導、安全管理人員の活動に要する経費を負担するもの。						

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 山形県ドクターヘリ運航に伴う保安、誘導、安全管理業務	29	—	14	—	
2					
3					

【事業費等】 (単位：千円)						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額	8,349	8,343	9,002	10,500	1町村あたり1,500千円を限度とする。
	財 国・県支出金					
	地 方 債					
	そ の 他					
人件費	従事職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	
	人 件 費	1,186	1,123	1,129	1,129	
	費用合計	9,535	9,466	10,131	11,629	

【現状分析及び今後について】	
現状分析 山形県ドクターヘリの昨年度の要請件数は17件あり、出動件数は14件であった。事故や遅延もなく安全な運航の一助につながっている。	今後について 管内の構成町村と連携し、安心かつ円滑な運航のためには今後の継続が必要である。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
理由	評点は39.6。ドクターヘリの安定的かつ円滑な運航のためには市町村との連携が必要不可欠であるため、今後も事業を継続する。	

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合	
理由	評点は38.0。事業は継続するが、町村による単独実施など、検討が必要である。	

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】					
主 管 課	消防本部 予防課（設備係）			記入者	小野 政春
広域圏計画	第2部	第2章	第1節 第1項	事務事業名	防火対象物立入検査実施事業
施 策	第	政策体系外			
実施根拠・根拠法例等	消防法第4条				
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	防火対象物の立入検査を実施し、対象物の実態把握、消防用設備等の維持管理状況が消防法に適合しているかを検査し、不備があれば改善指導することにより、火災及びその被害を未然に防ぐとともに関係者に対する防火意識の向上を図る。				

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 防火対象物立入検査数	158	-	253	-	指摘事業所：186事業所 是正率：28.5%
2 消防検査（消防用設備）	117	-	61	-	
3					

【事業費等】							（単位：千円）
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額						
	財 国・県支出金						
	地 地方債						
	そ の 他						
人 従事職員数	1.18	1.18	1.31	1.31	1.31		
人 人 件 費	8,513	8,811	9,243	9,243	9,243		
費 費用合計	8,513	8,811	9,243	9,243	9,243		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和元年度より、重大な消防法令違反のある防火対象物の公表制度が施行され、1件の対象物が当組合ホームページ上に公表された。また施行に伴い、関係者に丁寧な説明を行った結果、違反が是正された対象物もある。	今後について 「違反対象物の公表制度」は、建物利用者が、自ら火災危険性に関する情報を入力し、安心して建物を利用することができる手段であるため、継続していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由

【2次評価】		
総合評価	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	消防本部 予防課（危険物係）				記入者	松田 智哉
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	危険物規制
施 策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等	消防法第11条、最上広域市町村圏事務組合消防関係手数料条例他					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実 施 方 法 等	危険物施設の所有者等に対し、消防法令に基づいた安全な施設の維持管理等を図るため、申請・届出等の審査及び検査を行い利用者の安全を図る。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 危険物規制事務処理件数	151	-	131	-		
2 危険物立入検査	69	-	179	-	※前年度実績は、新型コロナウイルス感染症拡大により減少	
3 移動式タンク安全弁検査	111	-	110	-		

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額					その他：消防手数料	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他	1,221	1,111	1,092	703		
一 般 財 源							
人件費	従事職員数	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	
	人 件 費	5,227	4,914	4,939	4,939	4,939	
費用合計	5,227	4,914	4,939	4,939	4,939		

【現状分析及び今後について】	
現状分析	危険物施設の実態を把握し、火災予防上適切な指導、助言を行い、危険物に起因する事故の防止と被害の軽減を図っている。
今後について	危険物規制事務は許認可事務であり、保安上の規制を行うことにより、火災の防止に努め住民生活の安全を確保するためには必要不可欠である。

【1次評価】							
1次評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;">A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</td> <td style="width: 5%; border: none; text-align: center;">理</td> <td style="width: 35%; border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">由</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理			由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理						
	由						

【2次評価】										
総合評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; border: none;">A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</td> <td style="width: 5%; border: none; text-align: center;">今 後 の 方 向 性</td> <td style="width: 35%; border: none;"> <input type="checkbox"/>廃 止 <input type="checkbox"/>拡 大 <input type="checkbox"/>休 止 <input type="checkbox"/>縮 小 <input type="checkbox"/>終 了 <input type="checkbox"/>削 減 <input type="checkbox"/>継 続 <input type="checkbox"/>統 合 </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">理</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">由</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合		理			由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合								
	理									
	由									

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	消防本部 予防課（予防係）			記入者	安彦 亮	
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	防火指導等実施事業
施策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等	消防法第8条第1項、消防法施行令第4条第3項					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	住民や事業所に対し、消火器の取り扱いや避難訓練等の訓練指導を行うことにより、防火意識の向上を図る。					

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 防火訓練等実施回数	46	-	44	-	
2 巡回広報	331	-	325	-	
3					

【事業費等】 (単位：千円)						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額					
	財 国・県支出金					
	地 地方債					
	そ の 他					
人 従事職員数	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	
件 人 件 費	3,102	3,019	3,034	3,034	3,034	
費 費用合計	3,102	3,019	3,034	3,034	3,034	

【現状分析及び今後について】	
現状分析	学校や事業所からの要請により防火訓練指導を行っているが、自主的な訓練活動につなげるため、今後も施設管理者の防災意識や能力向上を図っていく必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新しい生活様式に適合した避難訓練指導の在り方について検討し実施した。
今後について	火災等の災害を未然に防ぐためには、建物の管理者や利用者の高い防災意識の醸成が必要不可欠であり、火災が発生した際は、初期消火、避難通報を確実に行わなければならないため、今後も継続し、助言指導を行っていく必要がある。

【1次評価】				
1次評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: none;">A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</td> <td style="width: 10%; border: none; text-align: center;">理 由</td> <td style="width: 60%; border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由			

【2次評価】						
総合評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: none;">A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</td> <td style="width: 10%; border: none; text-align: center;">今 後 の 方 向 性</td> <td style="width: 60%; border: none;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合 </td> <td style="width: 50%; border: none; text-align: center;">理 由</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合 </td> <td style="width: 50%; border: none; text-align: center;">理 由</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合	理 由
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合 </td> <td style="width: 50%; border: none; text-align: center;">理 由</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合	理 由		
<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合	理 由					

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	消防本部 指令課				記入者	田中 耕司
広域圏計画	第2部	第2章	第2節	第3項	事務事業名	高機能消防通信指令装置及び消防救急デジタル無線保守管理事業
施 策	第	通信指令機器の整備				
実施根拠・根拠法例等	電波法他					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	平成29年度から高機能消防通信指令装置と消防デジタル無線設備を一括して保守点検し、24時間365日常に安定した機器の運用を図る。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 消防通信指令機器保守管理業務委託料（千円）	24,200	-	24,200	-		
2		-		-		
3						

【事業費等】 （単位：千円）						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額	29,183	24,200	24,200	24,970	24,970
	財 国・県支出金					
	地 方 債					
	そ の 他					
人件費	従事職員数	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
	人 件 費	298	281	282	282	282
費用合計		29,481	24,481	24,482	25,252	25,252

【現状分析及び今後について】	
現状分析	消防通信指令業務は、緊急通報の受理から出動指令、支援情報の提供など消防業務の根幹を担っていることから、消防通信施設を適正に維持管理していく必要がある。 今後については、複雑かつ多様なプログラムや機器で構成されているシステムのため、継続し安定的な運用を図っていく必要がある。

【1次評価】	
1次評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</p> <p>A: 期待を上回る B: 概ね期待どおり C: 期待を下回る</p> </div> <div style="width: 30%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">理由</div> <div style="width: 30%;"> <p>評点は45.6。計画的かつ安定的な維持管理が図られており、事業の継続が必要である。</p> </div> </div>

【2次評価】	
総合評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</p> <p>A: 期待を上回る B: 概ね期待どおり C: 期待を下回る</p> </div> <div style="width: 30%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">今後の方向性</div> <div style="width: 30%;"> <p> <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合 </p> </div> </div> <div style="width: 30%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold;">理由</div> <div style="width: 30%;"> <p>評点は44.0。継続が必要である。次期更新の際には、保守を含めてコストの抑制に努めることが求められる。</p> </div>

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	消防本部 指令課			記入者	川崎 順也	
広域圏計画	第2部	第2章	第2節 第3項	事務事業名	119番通報等受信事業	
施策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等	消防組織法第1条、消防力の整備指針第33条					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	119番発信者の通報場所を迅速に把握し、当該署所に出動指令を行い、現場到着時間を早め災害による被害等を最小限にくとめる。また、出動隊に対して支援情報を送るとともに、関係機関への対応や一時的な報道対応等も行う。					

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 119番通報受信数	4,016	-	4,592	-	
2 火災出動件数	34	-	30	-	
3 救急出動件数	2,512	-	2,960	-	

【事業費等】 (単位：千円)						
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
事業費内訳	予算・決算額					
	財 国・県支出金					
	地方債					
	その他					
訳 一般財源						
人件費	従事職員数	14.13	14.13	14.13	14.13	
	人件費	105,508	99,193	99,702	99,702	99,702
	費用合計	105,508	99,193	99,702	99,702	99,702

【現状分析及び今後について】	
現状分析	<p>本事業は消防活動の起点であり要となるもので、住民の身体・生命・財産を守るために無くてはならない事業である。また救急受信時に必要に応じて効果的な応急処置等の口頭指導を行うことで、救命率の向上を図っている。外国人からの通報に対応する多言語コールセンターサービスも始まり、災害通報等対応の充実を図った。</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">今後について 本事業は住民からの119番通報を受け、出動隊に情報を送り指示を出すという消防活動において必要不可欠な業務である。また今後は聴覚・言語機能障がい者等に対応した体制強化を図っていく。</p>

【1次評価】	
1次評価	<p>A:期待を上回る</p> <p>B:概ね期待どおり</p> <p>C:期待を下回る</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">理由</p>

【2次評価】	
総合評価	<p>A:期待を上回る</p> <p>B:概ね期待どおり</p> <p>C:期待を下回る</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">今後の方向性</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>削減 <input type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>統合 </p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">理由</p>

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主管課	消防本部 指令課				記入者	齋藤 豪	
広域圏計画	第2部	第2章	第2節	第3項	事務事業名	消防指令体制整備事業	
施策	第	政策体系外					
実施根拠・根拠法例等 消防組織法第1条、消防力の整備指針第33条							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等		119番通報時や災害現場等において外国人、聴覚、言語機能障がい者に円滑に対応できるよう、「三者間同時通訳」や「NET119緊急通訳システム」及び「多言語音声翻訳アプリ」の導入を進め、より詳しい通報内容が聴取可能になるほか、今までは指導が困難であった応急手当の指導等も実施する。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 多言語通訳コールサービス利用件数	0	-	0	-		
2 NET119サービス登録者数	0	10	3	30	個人情報関係から全数把握は困難なため令和3年度は、10件を目標値に設定した。	
3						

【事業費等】 (単位：千円)						
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
事業費内訳	予算・決算額	328	1,160	610	610	610
	財 国・県支出金					
	地方債					
	その他					
人件費	従事職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
	人件費	1,154	1,194	1,194	1,194	1,194
費用合計		1,482	2,354	1,804	1,804	1,804

【現状分析及び今後について】		
現状分析	緊急通報の多様、多言語化に適切に対応し、迅速かつ適正な通信指令体制を構築できている。 NET119サービスは、事前登録制の為市町村関係部局と連携を図り、対象者へ周知し登録者の増進を図りたい。	今後について 通信指令業務は、消防救急活動を円滑に遂行する上で重要な事業であり、今後も継続していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理由 評点は40.8。多様な通報者に対応するため、今後もサービスの普及促進を含めた事業継続が必要である。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は41.5。継続が必要である。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	消防署 本署（予防係）				記 入 者	樋 渡 英 寿
広 域 圏 計 画	第 2 部	第 2 章	第 1 節	第 1 項	事 務 事 業 名	警防調査等実施事業
施 策	第	政策体系外				
実施根拠・根拠法例等	消防組織法第1条、消防法第20条、消防水利の基準（総務省消防庁告示）					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業	<input checked="" type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	防火対象物の位置・構造・消火設備・付近水利状況等を把握し、消防車両配置計画を立てることにより、迅速確実な消防活動が行えるようにする。					

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 警防調査件数	15	-	26	-	
2 条例届出に伴う現地調査	-	-	86	-	
3					

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額						
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
人 件 費							
従事職員数	0.06	0.20	0.45	0.45	0.45		
人 件 費	373	1,404	3,175	3,175	3,175		
費用合計	373	1,404	3,175	3,175	3,175		

【現状分析及び今後について】	
現状分析 警防調査並びに条例届出による現地調査以外にも各職員が年間を通して地水利調査を実施する等、迅速な消防活動が行えるように努めている。	今後について 管内の防火対象物の実態や地水利を把握させることは、消防活動上必要不可欠なため、今後も継続していく必要がある。

【1次評価】				
1次評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: none;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </td> <td style="width: 10%; border: none; text-align: center;">理 由</td> <td style="width: 60%; border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理 由			

【2次評価】															
総合評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: none;"> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る </td> <td style="width: 10%; border: none; text-align: center;">今 後 の 方 向 性</td> <td style="width: 60%; border: none;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃 止</td> <td><input type="checkbox"/> 拡 大</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 休 止</td> <td><input type="checkbox"/> 縮 小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終 了</td> <td><input type="checkbox"/> 削 減</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継 続</td> <td><input type="checkbox"/> 統 合</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">理 由</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃 止</td> <td><input type="checkbox"/> 拡 大</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 休 止</td> <td><input type="checkbox"/> 縮 小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終 了</td> <td><input type="checkbox"/> 削 減</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継 続</td> <td><input type="checkbox"/> 統 合</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 拡 大	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 終 了	<input type="checkbox"/> 削 減	<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 統 合		理 由	
A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今 後 の 方 向 性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃 止</td> <td><input type="checkbox"/> 拡 大</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 休 止</td> <td><input type="checkbox"/> 縮 小</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終 了</td> <td><input type="checkbox"/> 削 減</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継 続</td> <td><input type="checkbox"/> 統 合</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 拡 大	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 終 了	<input type="checkbox"/> 削 減	<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 統 合					
<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 拡 大														
<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 縮 小														
<input type="checkbox"/> 終 了	<input type="checkbox"/> 削 減														
<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 統 合														
	理 由														

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	消防署 本署（救急係、救助係）				記 入 者	早坂 卓人
広域圏計画	第2部	第2章	第1節	第1項	事務事業名	救急救助活動事業
施 策	第	消防、救急体制の充実				
実施根拠・根拠法例等	消防組織法第1条、消防法第36条の2					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事業 <input type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input type="checkbox"/> 評価事業 <input checked="" type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	救急救助要請に対し隊員の技能、知識及び資器材等を用いて、迅速かつ的確に救急救助活動を行い、傷病者に必要な応急処置を実施するとともに、適切な医療機関への緊急搬送を行い、救命率の向上と傷病者の早期な社会復帰を図る。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 救助出動件数	35	-	47	-		
2 救助人数	18	-	28	-		
3 救急搬送人員	2,761	-	2,841	-		

【事業費等】							(単位：千円)	
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考		
事業費内訳	予算・決算額	5,485	5,322	4,061	5,547	5,450		
	財 国・県支出金							
	地 方 債							
	そ の 他							
人件費	従事職員数	6.36	6.89	6.89	6.89	6.89		
	人 件 費	47,490	48,368	48,616	48,616	48,616		
	費用合計	59,787	53,690	52,677	54,163	54,066		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	近年、若年職員が増加したことにより、救急隊員、救助隊員等の育成が急務となっている。現場で活動するための体力・知識・技術を習得するため、常に研修や訓練を積み重ね研鑽し、隊員育成を行っている。	今後について
		救急救助活動のみならず、各種災害現場活動において、質の高い消防活動は必要不可欠であり、今後も継続的かつ効果的に隊員育成を行い、資質向上を図る必要がある。

【1次評価】		
1次評価	A: 期待を上回る B: 概ね期待どおり C: 期待を下回る	理由

【2次評価】		
総合評価	A: 期待を上回る B: 概ね期待どおり C: 期待を下回る	今後の方向性
		<input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合
		理由